

# 令和2年度入学生用カリキュラムマップ

【健康・スポーツ科学研究科 健康・スポーツ科学専攻】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号											
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 思考・判断			4. 読解		
1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	
20MHSA1312	課題研究Ⅰ	1	修士論文作成に向けての準備段階と位置づけて、実験計画の立案、予備実験の実施、データ解析、ディスカッション、そしてプレゼンテーション能力を高め、課題研究Ⅱへと繋げていく。	研究の最新情報、特に欧米の論文をよく読んで研究の知識を深めること。また、実験・調査の手法や統計解析能力を高めて修士論文の作成準備を整えること。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
20MHSA2322	課題研究Ⅱ	2	大学院での特論・演習・実習で修得した知識・技術を基に自らの研究テーマの背景と課題を明確にし、適切な研究方法と解析能力を養い、その成果をまとめてプレゼンテーションができること。	課題研究Ⅱを通して自身の研究テーマを学会で発表し、より質の高い修士論文に繋げていけるようにする。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
20MHSC1212	健康・スポーツ科学研究法	1	本授業では、研究のプロセス、統計手法および研究スタイルについて解説し、修士論文を作成するための基礎的知識を学ぶこと、および科学の健全な発展のために身につけなければならない科学者として必要な考えや態度を養うことを目的とする。	健康・スポーツ教育学、健康・体力科学、スポーツトレーニング科学、スポーツビジネスおよびリハビリテーション科学の各分野に関係する研究法についての理解を深める。加えて、科学の健全な発展のために科学者として必要な考え方、すなわち1) 責任ある研究活動とは何か、2) 高い倫理性に基づく研究の進め方、3) 適正な研究成果の発表について理解する。	◎						◎	◎	◎	◎	◎	
20MHSC1222	身体運動評価学実習	1	スポーツ健康科学と理学療法学の現場に必要な身体運動の見方・考え方を学ばせ、種々の実習を通して身体運動の量的・質的評価ができるようになることを目的とする。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	スポーツ医学に関連する測定方法および解析方法について正しく理解できると同時に測定および解析に使用する機器を正しく操作することができる。また、測定および解析を実施する際の注意点について説明でき、なおかつ測定および解析の妥当性、信頼性について検討することができ、身体運動の質的評価ができるようになる。		◎	◎				◎	◎	◎		◎	
20MHSP1211	保健体育科教育学特論	1	保健体育科の教育目標、教育内容、指導方法、学習のあり方についての基礎的な知識・概念の理解を深めていく。それをもとに、保健体育科の課題の解明に迫る。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	・保健体育科の意義を理解できる。 ・保健体育科の課題にむけて解決方法（研究の視点）を身につける。							◎	◎		◎	◎	
20MHSP1312	保健体育科教育学演習	1	保健体育科に関して問題を指定し、理論的ないしは実践的に解明していくための研究計画を作成する。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	①解明しようとする問題を演習のテーマとし、先行研究の動向を知る。 ②テーマに迫るための研究方法を定める。 ③データを集め論理的に組み立てて一定の知見を得る。	◎	◎	◎				◎			◎	◎	◎
20MHSP1221	スポーツ教育学特論	1	スポーツ（体育授業以外のスポーツ実践を主な対象とする）を教育という観点から捉え、スポーツの教育力・実態（問題点）・実践課題などを総合的に明らかにする。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	受講生がそれぞれのスポーツ観・教育観を再吟味し、視野を広げたうえで再構築することを目標とする。							◎	◎		◎	◎	



科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号																		
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目																		
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 思考・判断			4. 読・読									
1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2								
20MHS1322	健康行動学演習	1	本科目では、健康を行動（主に身体活動）の側面から理解し、人の健康に関する行動の変容と維持について、先行研究の精読および調査演習から筋道を通して考える知識を身につけることを目標とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	健康行動科学に関する調査手法を習得する過程を通じて、実践的な課題を解決する能力を身につける。	◎	○	◎					◎					◎	○	◎				
20MHS1231	レジャー・レクリエーション学特論	1	レジャー・レクリエーションに関連する原理、心理、運動論、指導論、組織論、企画論、グループワーク論等の基礎理論を学習するとともにレジャー・レクリエーション研究者として必要な基礎を養うことを目的とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	近年のレジャー・レクリエーションに関する研究の動向・方法を深く理解する。								◎	○					◎		○	◎		
20MHS1332	レジャー・レクリエーション学演習	1	レジャー・レクリエーションの研究で多く用いられる調査・分析（統計、多変量解析）方法を十分に理解するとともに高い実践能力を養う。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	研究者として必要な調査・分析の基本から応用までを学ぶ。	◎		◎					◎					◎	○	◎				
20MHST1211	運動制御学特論	1	本特論では、ヒトの神経系・運動器・感覚器のそれぞれの構造と機能、およびそれらの相互関係に立脚し、随意運動の制御機構について理解を深める。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	随意運動の制御機構について理解を深めることを目標とする。運動制御学の学修には、生体電気現象の記録・解析などへの理解を欠くことができず、運動生理学や運動学手法を用いた実験・実習も織り交ぜながら演習を進めていく。								○	◎					◎		○	◎		
20MHST1312	運動制御学演習	1	スポーツ科学あるいは理学療法に関する運動制御学関連の論文（主としてInternational Journal）を精読し、これらの精査がスポーツパフォーマンスの向上あるいは安全な生活遂行能力の確保に大きく寄与できることを理解する。同時に、国際的な視野から運動制御にかかわる最新の問題点を把握し考察できる能力の育成をはかる。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	修士論文に関わる英語科学論文の内容を正確に把握でき、それらを精査し自身の修士論文に独創性を持たせるよう活かしていくことを目標とする。	◎	○					○	◎					◎		◎	◎			
20MHST1221	スポーツ心理学特論	1	本講義ではスポーツ活動における個人の心理特性（人間行動や精神行動）を理解し、スポーツ場面において表出される臨床的問題について考究する。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	スポーツ選手のメンタルに関する研究の動向を深く理解できる。													◎		○	◎		○	○



科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 思考・判断			4. 読・聴				
1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2			
20MHSB1312	スポーツビジネス演習	1	本演習は、多様な企業や団体が展開しているスポーツビジネスにおけるビジネスモデルの構造や、スポーツビジネスが生み出す社会的・経済的価値について、内外のケーススタディを通して考究し、ディスカッションする。	ディスカッションを主体としたスポーツビジネスに関わるケーススタディを通して、スポーツビジネスにおけるビジネスモデルの構造について考究し、スポーツが生み出す社会的・経済的価値について「持続可能性」の観点から論評できる能力を身につける。	◎	◎					○			○	○	◎	◎	
20MHSB1221	スポーツマーケティング特論	1	マーケティング論は、個人と組織の目的を満たすような交換を生み出すために、アイデアや財やサービスの考案から、価格設定、プロモーション、そして流通に至るまでを計画し、実行するプロセスである。現代におけるスポーツ産業の様々な成功事例からその裏側にあるマーケティング戦略を考察する。	マーケティングの基本用語や戦略法を理解し、自身の問題意識を交えて、商品、サービスを企画開発や宣伝、流通、そして価格など全て、顧客の立場で商品、サービスを評価できる人材の育成を目指す。	◎	◎				○			◎	○	○	○	○	
20MHSB1322	スポーツマーケティング演習	1	この科目では、より深いマーケティング、また商学の実践的な戦略アプローチに関する専門的な知識および理論を学び、自ら論理的に戦略を考察し、分析できることを目的とする。	マーケティング関係、またスポーツビジネスにおける戦略論に関する論文購読を通じて、スポーツマーケティング分野の研究を理解する。			○	◎					○	○	○	○	○	
20MHSR1211	運動機能障害学特論	1	中枢神経障害および内部障害による運動機能の喪失について、その特徴および運動機能解析について基本的理解を得る。さらに、理学療法の評価と介入についても理解する。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	修士課程大学院生が運動機能障害学に関する基本的理解を深め、理学療法の評価と介入について論理的に説明することができる。									◎		◎		◎	◎
20MHSR1312	運動機能障害学演習	1	中枢神経障害および内部障害による運動機能の喪失について、国内外の文献購読を通じて、理学療法の評価と介入における最新の現状について理解する。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	修士課程大学院生が自らの研究に関する英語論文購読を通じて、運動機能障害学分野の研究を理解する。	◎						◎			◎		◎	○	◎
20MHSR1221	分子機能回復学特論	1	人体の運動機能またそれを制御している神経機能を分子レベルから理解するための、基礎知識を学習する。	我々の体を構成している細胞にある様々な分子の働きについて、理解する。									◎		◎		○	◎
20MHSR1322	分子機能回復学演習	1	本演習では運動機能障害や運動失調症が細胞生物学・分子生物学の手法を用いてどのような解析ができるのかを、実際の論文を解説することによって学習する。また特論で学んだ解剖生理学的な知識と細胞・分子生物学的な知見がどこまで統合可能になってきているのかを考察させる。	英語の論文を読んで理解することができる。論文の内容を要約し、発表することができる。	◎								◎		◎		◎	◎



